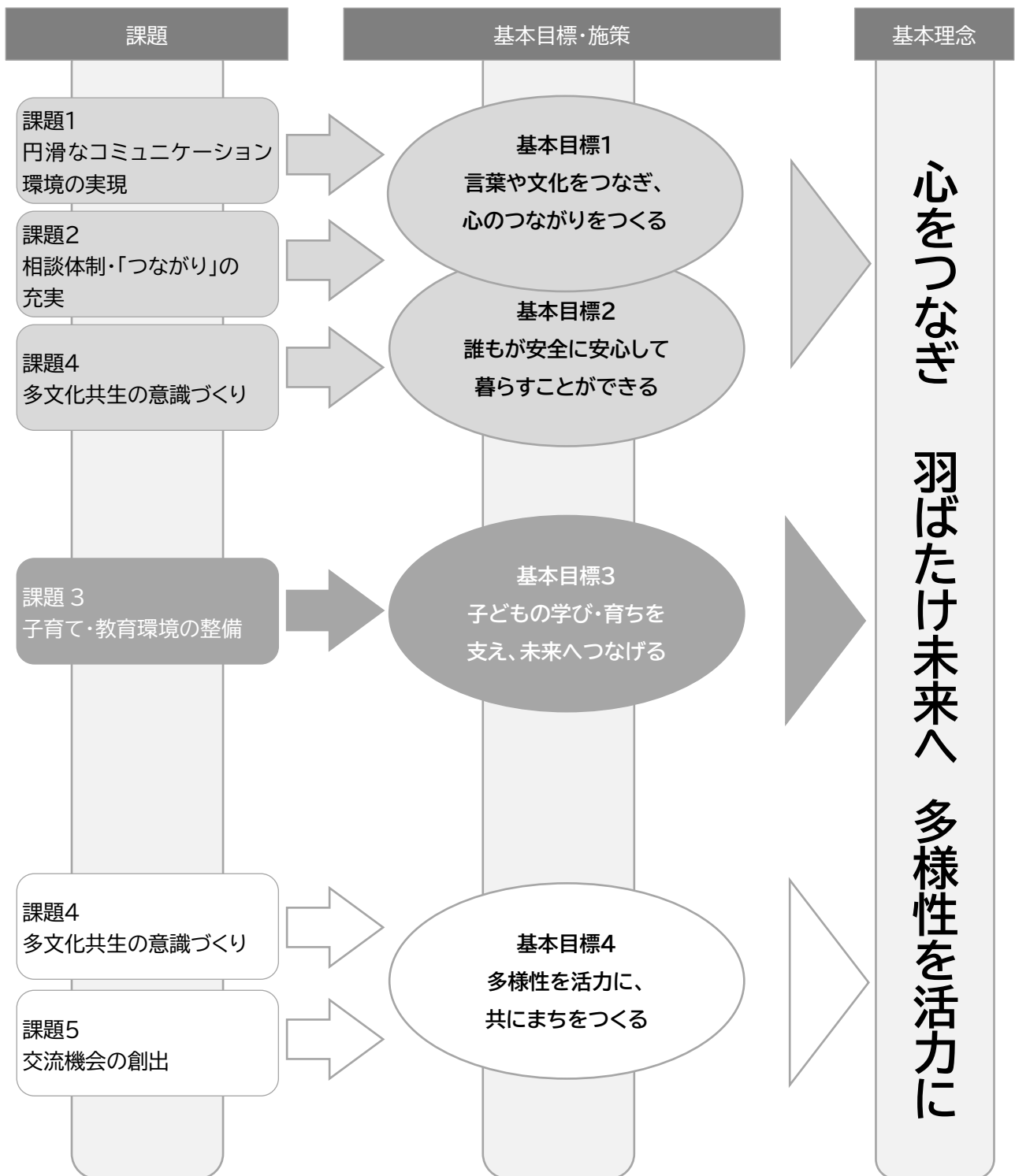


# 第3章 計画の基本的な考え方

## 1 基本理念

アンケート調査結果等から「つながり」が必要であることがわかりました。言葉や文化等が異なる人々が多様性を認め合い、地域住民として共に暮らし活躍できるよう、心のつながりをつくり、未来へ羽ばたく子どもたちの学び・育ちを支え、多様性を活力に「多文化共生社会」の実現を目指します。



## 2 基本目標

基本理念の実現に向け、本計画の基本目標を以下のように定めます。

### 基本目標 1 言葉や文化をつなぎ、心のつながりをつくる

言語の壁を軽減し、円滑なコミュニケーション環境を構築するとともに、多文化共生の意識醸成を図ることで、心がつながる誰もが暮らしやすいまちづくりを目指します。

行政・生活情報、施設利用案内、各担当窓口における多言語化を促進し、利用してもらいやすい環境づくりを推進します。

また、日本語学習の機会を充実するとともに、「やさしい日本語」を用いた行政の窓口対応や職員研修、市民に対する出前講座等を促進し、外国人市民・日本人市民の共通語として「やさしい日本語」の周知啓発を推進します。

さらに、行政情報や日本社会の習慣等を記載した、多言語の生活ハンドブックを提供する等、外国人市民が地域住民として滞りなく生活できる環境整備を図ります。

文化や生活習慣の違いを認め合い理解することでお互いが尊重できるよう、多文化共生の研修や人権尊重意識の啓発等を促進し、多文化共生の意識の向上を図ります。

### 基本目標 2 誰もが安全に安心して暮らすことができる

生活基盤の充実を図ることで、安全・安心に暮らすことができるまちづくりを目指します。

生活の柱となる住宅に関する支援や働きやすい労働環境を確保するとともに、医療・保健・福祉等については、外国人市民にもわかりやすい情報提供の充実を図ります。

災害時への対応については、平常時より情報提供を推進するとともに、外国人市民が支援の担い手となるよう自主防災組織等への外国人市民の参画を促進します。

また、感染症対策においても、情報提供や相談・サポート体制等の充実を図ります。

### 基本目標 3 子どもの学び・育ちを支え、未来へつなげる

子育て・教育環境の充実を図り、子どもの学びや育ちを支えることで、誰ひとり取り残さない未来に向けたまちづくりを目指します。

長期滞在の外国人市民が増えていることから、妊娠・出産・子育てにおける制度や事業の情報提供を充実するとともに、必要な支援やサービスにつなぐ体制の強化を図ります。

また、外国人児童や若者が不就学や不登校等にならないよう、児童生徒および保護者に対して、日本語指導や母語によるサポートを行います。不就学や不登校の児童生徒に対しては就学支援や相談支援を行うなど、希望の進路を選択できるよう教育環境の整備を促進します。

### 基本目標 4 多様性を活力に、共にまちをつくる

言葉や文化等が異なる人々の交流の深化を図り、多様性を活かして、共にかがやき活気にみちたまちづくりを目指します。

多文化共生に関するイベントの開催や、言葉や文化等が異なる人々が気軽に集うことができる交流機会を創出し、新しい発想や活動が生まれる環境づくりを促進します。

また、外国人市民が地域社会の一員として、地域活動に参加し、意見したり、個性や考え方、経験、能力を発揮できる仕組みを構築します。



## 3

## 成果指標

基本理念の実現に向けて進捗管理を行います。基本目標の達成度を定期的・継続的に測定できる指標を設定し、多文化共生施策の効果を検証します。

基本目標	成果指標	現状値	目標値 (R11)
1 言葉や文化を つなぎ、 心のつながりを つくる	【指標1】 日本人市民の市民調査において外国人市民に対する親しみを「親しみを感じる」「多少親しみを感じる」と回答した人の割合の増加	19.2% 【2021（令和3）年度 多文化共生市民調査】	40.0%
	【指標2】 日本人市民の市民調査における「多文化共生の言葉・考え方」について「考え方まで詳しく知っている」「概要だけ知っている」と回答した人の割合の増加	26.1% 【2021（令和3）年度 多文化共生市民調査】	50.0%
	【指標3】 各務原国際協会（KIA）のSNSの登録者数の増加	600人 【2022（令和4）年4月現在】	1,000 人
2 誰もが安全に 安心して 暮らすことが できる	【指標4】 外国人市民の市民調査における「各務原市での生活の満足度」について「満足している」と回答した人の割合の増加	54.7% 【2021（令和3）年度 多文化共生市民調査】	65.0%
	【指標5】 災害時外国人支援ボランティアの人数の増加	40人 【2022（令和4）年4月現在】	60人
3 子どもの学び・ 育ちを支え、 未来へつなげる	【指標6】 外国人市民の市民調査における「出産・育児での困り事」について「育児のことで相談する人がいなかった」と回答した人の割合の減少	10.6% 【2021（令和3）年度 多文化共生市民調査】	0.0%
	【指標7】 外国にルーツを持つ子どもの学び場の増加	2カ所 【2022（令和4）年4月現在】	5カ所
	【指標8】 外国人市民の市民調査における「お子さんまたはあなた自身の学校と進路における不安な点」について何かしら不安があると回答した人の割合の減少	51.0% 【2021（令和3）年度 多文化共生市民調査】	30.0%
4 多様性を活力に、 共にまちをつくる	【指標9】 多文化共生・国際交流イベントの参加者数（KIA フェス 実行委員、企画ボランティア等）の増加	30人 【実行委員数 2022 （令和4年）】	60人
	【指標10】 外国人市民の市民調査における「日本人と共に行う地域活動への参加の有無」について「参加していない」と回答した人の割合の減少	42.1% 【2021（令和3）年度 多文化共生市民調査】	30.0%

## 4 施策の体系

基本理念

基本目標・施策

心をつなぎ

羽ばたけ未来へ

多様性を活力に

### 基本目標1 言葉や文化をつなぎ、心をつながりをつくる

- (1) 行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備
- (2) 日本語教育の推進
- (3) 生活オリエンテーションの実施
- (4) 多文化共生の意識の向上

### 基本目標2 誰もが安全に安心して暮らすことができる

- (5) 住宅確保のための支援
- (6) 適正な労働環境の確保
- (7) 医療・保健・福祉サービスの提供
- (8) 災害時・感染症流行時の支援体制の整備

### 基本目標3 子どもの学び・育ちを支え、未来へつなげる

- (9) 子ども・子育てに関する支援体制の充実
- (10) 子どもへの教育機会の確保

### 基本目標4 多様性を活力に、共にまちをつくる

- (11) 交流機会の充実
- (12) 外国人市民の社会参画支援、  
連携・協働による地域活性化の推進